

科目名	アントレプレナーシップ論 Entrepreneurship		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・木・3 限	春・木・5 限	-	-
担当教員名	岸田 伸幸			
<p><講義の概要と目的></p> <p>ベンチャー企業、社内起業家、企業家的経営者を対象に、アントレプレナーシップを学ぶ。事例研究や技法解説を通じて、起業前後に遭遇するであろう諸問題の理解と、対処の指針や方法を学ぶ。起業人材に求められる資質を、論理的に理解し、自らの資質と課題とを認識する。ベンチャー経営のベストプラクティスを体系的に把握する。事業計画の作成に向けた事業構想の意義と方法論を習得する。</p>				
<p><講義計画></p> <p>第1週：「アントレプレナーシップ」とは 本講座の進め方について説明する。起業家の現代的使命と時代認識を共有する。アントレプレナーシップ及びベンチャーの定義を論じ、ベンチャーと在来産業という視点で整理する。</p> <p>第2週：起業家資本主義の勃興 米国発のベンチャー経済の勃興から説き起こし、今世紀に至る日本の起業家資本主義の展開をみる。各種起業家の事例を軸に辿ることを通じ、事業機会を探索する「鳥の眼、虫の目」を磨く。</p> <p>第3週：起業家エコシステムの形成 起業家活動の社会的基盤となるエコシステムについて学ぶ。理論的側面と内外の形成過程とを知り、日本に於ける現状と展望を、起業実践の立場から理解する。グループ編成と課題の提示。</p> <p>第4週：事業構想の理論 ベンチャー企業と起業家の役割。産業組織内における存在意義。新事業アイデアの探索とアイデアワーク技法を知る。会社設立前の課題と解決策。ビジネスプラン概論。（教科書 第1章、第2章）</p> <p>第5週：アントレプレナー事例ケーススタディ 予め配布する資料に基づく、創業期ベンチャーのケーススタディを行う。クラス討議を通じ、起業活動の性質とマネジメント上の特性について理解を深める。</p> <p>第6週：ベンチャー成長の理論1：スタートアップ段階 ベンチャー成長サイクル理論。スタートアップ期の経営課題と対処方法について学ぶ。ベンチャーマーケティングおよびブランド戦略。キャッシュフロー予測とJカーブ効果。（教科書 第3章）</p> <p>第7週：ベンチャー成長の理論2：成長段階 リスク成長期の経営課題と対応策を学ぶ。ベンチャー企業の発展段階と対応戦略。ベンチャー起業の成功確率。急成長期ベンチャー経営のケーススタディ。（教科書 第4章）</p> <p>第8週：グループワーク発表会 グループワークの成果を発表し、クラス討議を行う。</p> <p>第9週：起業家の資質と経営チーム 起業家に求められる資質と特徴。会社理念の重要性。経営チーム組成に関する留意点。起業チームのケーススタディ。マネジメントの交代／事業承継。（教科書 第5章）</p> <p>第10週：ベンチャー人材マネジメント 成長段階に応じたベンチャー人材戦略。人事マネジメントシステム（報酬体系・人事考課・教育訓練）の構築。教材資料に基づくクラス討議。（教科書 第6章）</p>				

第11週：起業競争力の源泉

知的財産権とベンチャー戦略を学び、大学発ベンチャー、大企業発ベンチャー、ハイテクスタートアップを論ずる。また、公的高等研究機関・地方技術試験場等の役割を考える。（教科書 第7章）

第12週：ベンチャーファイナンス1

ベンチャー企業の資金ニーズとその変化。創業資金の確保。金融機関の利用。ベンチャーキャピタルの概要と活用戦略。クラウドファンディングについて。（教科書 第8～9章）

第13週：ベンチャーファイナンス2

ステークホルダー／出資者等との協創関係。株式上場のメリットとデメリット。企業価値評価方法と評価事例研究。資本政策の理論とケーススタディ。（教科書 第10～11章）

第14週：起業家活動の現在と支援策[ゲスト講義]

起業／ベンチャーの第一線で御活躍中の実務家をゲストに招き、近年の起業家活動や支援政策の動向を伺う。起業を志す人材に求められる資質や知識、キャリアおよび準備についてもお話し頂く。

第15週：社内起業家と企業革新

産業構造の変化と社内ベンチャーによる経営革新を論ずる。大企業のコーポレートベンチャリングおよび伝統産業のイノベーション（第二創業）について、ミニケースから学ぶ。

<講義の進め方>

教科書、参考書に沿って講義を行う。また、履修者を各数名のグループに編成して報告発表を課し、クラス討議を行う。題材は事例や雑誌記事、教科書・参考書の章課題等から事前に指示する。

<教科書及び教材>

下記教科書ほか随時所要の教材・参考資料を、プリント、電子ファイル等で配布する。

- ・長谷川博和『ベンチャーマネジメント[事業創造]入門』日本経済新聞出版社（2010）

<参考書>

- ・R・マグレイス／I・マクミラン『アントレプレナーの戦略思考技術』ダイヤモンド社（2002）
- ・加来耕三『日本を再興した起業家物語』日本経済新聞社（2012）
- ・木谷哲夫『ケースで学ぶ実戦企業塾』日本経済新聞社（2010）
- ・清成忠男『事業構想力の研究』宣伝会議（2013）
- ・勿那憲治ほか『アントレプレナーシップ入門』有斐閣（2013）
- ・前田昇／安部忠彦編『ベンチャーと技術経営』丸善（2005）

<成績評価方法>

- ・欠席6回以上は成績評価しない。
- ・グループ発表30%、小課題・クラス貢献40%、期末レポート30%の割合で評価する。

<履修条件> 特になし。

<DVDによる視聴> 可

<オフィスアワー> 木曜4限、6限

<その他>

次回分の教科書章・参考書を予習し、webなどで情報収集しておくこと。グループ発表への積極的参加とクラス討議のための事前準備を推奨する。適宜、小レポートを課すことがある。ゲスト講師の都合で日程変更されることがある。